



SEINAN
GAKUIN UNIVERSITY



人と情報をつなぐ西日本インフォプロ交流会
「大学図書館における新型コロナウイルス感染症対策について」
～大学図書館がとった新たな利用者サービス

2021年2月12日





本日のテーマ

SEINAN
GAKUIN UNIVERSITY

新型コロナウイルス感染症対策 ～西南学院大学の場合～

西南学院大学図書館 山下 大輔





自己紹介

- 氏名 : 山下 大輔 Dice-K Yamashita
現職 : 西南学院大学図書館 (13年目)
前職 : 公共図書館司書 (約6年)
大学 : 図書館情報大学 (g...)
出身 : 福岡県
好きなもの : 鳥、将棋、スポーツ観戦



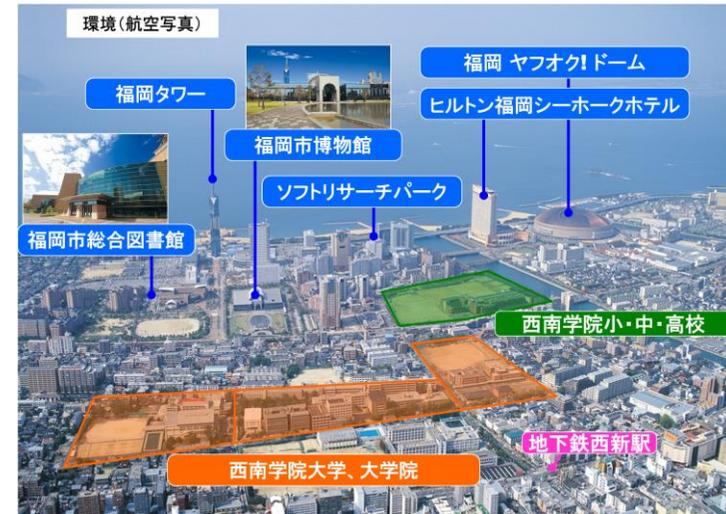


大学紹介

SEINAN
GAKUIN UNIVERSITY

西南学院大学

- 南部バプテスト派のキリスト教主義に基づく教育
- 学部構成：神学部、文学部、商学部、経済学部
法学部、人間科学部、国際文化学部
- キャンパス：1キャンパス
- 在籍者数（2020年5月1日現在）
学生数 8,302名（うち大学院生 123名）
専任教員数 217名 専任職員数 202名





1. 概要とスタート
2. 主にオンラインでのサービス展開
 - ① ウェブセミナー
 - ② オンライン学修相談
 - ③ オンデマンドコンテンツ
3. その他の状況
4. まとめ





1. 概要とスタート





3月1日	グループ学習室等閉鎖
4月1日	開館時間短縮
4月10日	臨時閉館（平日のみ予約貸出）
4月10日	2チーム制勤務
4月13日	完全閉館（予約貸出停止）
4月14日	最低限の体制での勤務開始
4月15日	オンライン授業開始
4月17日	図書館ウェビナー開始
5月7日	2チーム制での勤務再開
5月7日	電子ブック拡充
5月8日	遠隔授業等での著作権に関するレファレンス受付開始
5月13日	郵送貸出開始／ウェビナー再実施
5月19日	平日のみ予約貸出再開（福岡県緊急事態宣言解除を受けて）
5月20日	ラーニングサポートスタッフ（学生）によるオンライン学修相談開始
5月21日	LibrariE提供開始
6月1日	全員出勤再開（勤務場所分散）
6月8日	ラーニングサポートスタッフ（学生）によるメール学修相談開始
6月15日	書架までの入館を再開（閲覧席等は不可）
6月22日	新規ウェビナーシリーズ開始
7月22日	入館利用一部停止
9月9日	入館利用再開（閲覧席利用可、平日9：00～20：00のみ）
10月7日	土曜日開館再開（9:00～20:00）
10月22日	1名でのグループ学習室利用再開
10月26日	早朝（8:30～）及び日祝日の開館再開（13:00～20：00）
12月15日	一部閲覧室、休憩室等の施設の一部を利用制限
1月14日	他大学所属者の相互利用を停止
1月22日	ラーニングサポートスタッフによるレポートの書き方講座を公開



- Zoomの導入（図書館独自）
- Slackの整備（図書館独自）
- 定例オンラインミーティングの開催
→ 毎日16:30 - （当初は館長も参加）
- 共同編集環境の構築
→ Dropbox、googleドキュメント 等





- 課員が昨年からZoomを外部で使っていた。
- ビジネスツールは、数年前からテストしていた。
- 業務委託が、キャンパスサポート西南であったことで、適度な距離感を保てた。
- 一つの方角を向くことができた。

→ とにかく、4月当初から前向きな
メッセージ（行動）を示したかった。





図書館独自フェーズの作成

フェーズ	第1フェーズ (現状)	第2フェーズ	第3フェーズ	第4フェーズ	第5フェーズ
説明	基本的に閉館。 予約分の貸出のみ	部分開館。 書架への立入可。	部分開館 一部閲覧席可。	開館。 一部利用制限。	通常開館
職員の出勤体制	2チーム制	通常 ※夜間チームは、遅れて出勤し、17時から閉館作業等を行い、19時退勤。	通常 ※夜間チームは、長期休暇中体制。	通常 ※夜間チームは、長期休暇中体制。	通常
開館 (対応) 時間	平日13:00 – 17:00 受取のみ	平日9:00 – 17:00 滞在時間制限 (1人30分以内)	平日9:00 – 20:00 土曜日9:00 – 20:00 日曜日13:00 – 20:00	平日9:00 – 20:00 土曜日9:00 – 20:00 日曜日13:00 – 20:00	平日9:00 – 22:00 土曜日9:00 – 20:00 日曜日13:00 – 20:00
資料の予約、貸出	△ (事前予約分のみ)	○	○	○	○
ILL	△ (時間がかかる)	△ (時間がかかる)	○	○	○
書架への立入	×	○	○	○	○
新聞・雑誌 (禁退出資料)	×	△ (短時間閲覧のみ)	○	○	○
自動書庫	△ (事前予約分のみ)	○	○	○	○
貴重書	×	△ (事前予約分のみ)	○	○	○
国立国会図書館端末	△ (問い合わせ分のみ)	○	○	○	○
複写機	△ (予約分のみ)	○	○	○	○
閲覧席	×	×	△ (席を制限)	△ (席を制限)	○

※作成当時のもの。現状とは、異なります。



4月上旬...

- 状況の変化に対応可能な体制整備
- 情報共有体制の整備
- 新人育成の環境整備
- 前向きな発信のための準備
- 方策の策定よりも、環境整備を重視した





【運営体制】

（直営部分）

図書館長（教員兼務）

役職（3名）：司書1名（私）

専任職員（4名）：司書3名

専任以外の職員（4名）

ラーニングサポートスタッフ（学生）約15-20名

（業務委託）

- ・ 閲覧
- ・ 目録
- ・ ILL
- ・ 装備 等



現在のレベルは、「流行拡大期」です。
(変更日:2021年1月14日)

西南学院大学 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動指針

現在の感染拡大警戒レベル	感染拡大警戒レベル	拡大局面	終息局面	判断基準(目安)	授業 (チャペルアワー)	学生	教員	職員	学外者の訪問	課外活動等の実施	学外への施設の貸出
	I	(発生期)	流行終息期	(流行終息期) セルフケア中心の感染防止対策のみで対応できる状態にある							
	II	(流行早期)	流行消退期	(流行消退期) 国内各所で感染者が減少し、感染防止対策を行うことを条件に活動の自粛が段階的に緩和されていく状態にある	対面授業と遠隔授業を組み合わせる。	感染防止対策を十分に施した上で、学内施設への入館を認める。	感染防止対策を十分に施した上で学内での勤務を認める。		感染対策を十分に施している者に限り、認める。	感染対策基準を踏まえた活動計画を提出し、許可された団体に限り、活動を認める。	感染対策基準を満たすことを条件に貸出を認める。
	II	流行再発期		(流行再発期) 国内各所で感染者が増加し、行動の自粛が求められる状態にある	原則、遠隔授業とするが、対面授業を実施する必要性が高い場合に限り、これを認める。	大学が認める活動等に関わる学生に限り、学内施設への入館を認める。	学内にて教育・研究活動を行う必要性が高い場合に限り、学内での勤務を認める。	時差出勤等の就業配慮制度を運用した上で、通常勤務を要請する。	業務上必要性が高く、感染対策を十分に施している者に限り、認める。	感染対策基準を踏まえた活動計画を提出し、許可された団体に限り、活動を認めるが、状況に応じて中止を求める。	貸出先が感染対策基準を満たすことを条件に貸出を認めるが、状況に応じて取消しを求める。
	IV	流行拡大期	経過観察期	(経過観察期) 国や自治体からの外出自粛制限等の緩和、要請が出される等、流行拡大のリスクが高い状態にある							
	IV	流行拡大期		(経過観察期) 国や自治体からの規制が解除されたものの、引き続き、活動自粛を継続しながら、感染状況を注視する必要がある状態にある	全てを遠隔授業で実施する。	原則、学内施設への入館を禁止する。	原則、学内での勤務を禁止する。	原則、交代制による勤務を要請する。	原則、禁止する。	原則、禁止する。	原則、禁止する。
	V	蔓延期		(蔓延期) 法令に基づく国や自治体からの規制が発令されている状態にある		学内施設への入館を禁止する。	学内での勤務を禁止する。	事務室での勤務を禁止する。	禁止する	禁止する。	禁止する。



2. 主にオンラインでのサービス展開

- ① ウェブセミナー
- ② オンライン学修相談
- ③ オンデマンドコンテンツ





- 001：4月17日（金） 電子ブック
- 002：4月20日（月） 蔵書検索システム（OPAC）
- 003：4月22日（水） Japan Knowledge（辞書ツール）
- 004：4月24日（金） 日経テレコン（日本経済新聞）
- 005：4月27日（月） 雑誌論文検索（CiNii Articles）
- 006：4月30日（木） 東洋経済デジタルコンテンツライブラリー
- 007：5月07日（木） 今、在学生の皆様に伝えたいこと。
- 008：5月13日（水） 蔵書検索システム（OPAC）
- 009：5月15日（金） 電子ブック
- 010：5月18日（月） 日経テレコン（日本経済新聞）
- 011：5月20日（水） 雑誌論文検索（CiNii Articles）
- 012：5月22日（金） 東洋経済デジタルコンテンツライブラリー
- 013：5月25日（月） Japan Knowledge（辞書ツール）
- 014：5月29日（金） 今、在学生の皆様に伝えたいこと。
- 015：6月22日（月） フランス国立図書館「Gallica」でみる世界」①
- 016：6月24日（水） 大英図書館のバーチャル空間で学ぼう！遊ぼう！」①
- 017：6月26日（金） Joconde DB, 私をルーブルへ連れてって！」①
- 018：6月29日（月） フランス国立図書館「Gallica」でみる世界」②
- 019：7月1日（水） 大英図書館のバーチャル空間で学ぼう！遊ぼう！」②
- 020：7月3日（金） Joconde DB, 私をルーブルへ連れてって！」②





ウェビナー Zoom ②

- 022：7月14日（火） 映画／洋楽に学ぶ。もっと英語を好きになるセミナー①
- 023：7月15日（水） 商学部1・2年生向けレポートの書き方講座
- 024：7月16日（木） ディベートで役立つ情報収集・整理のコツ②
- 025：7月17日（金） 映画／洋楽に学ぶ。もっと英語を好きになるセミナー②
- 026：12月1日（火） 「押さえておきたいフランス語資格試験！概要と合格のコツ」①
- 027：12月3日（木） 「もっと英語を好きになる。洋楽を使った英語勉強法」①
- 028：12月4日（金） 「押さえておきたいフランス語資格試験！概要と合格のコツ」②
- 029：12月8日（火） 「Youtubeドラマから学ぶフランス語とフランス文化」①
- 030：12月10日（木） 「自分らしく、100%の大学生活にするために私が挑戦してきたこと」①
- 031：12月11日（金） 「フランス語だけどわからない！？色々な国のフランス語(カナダ・ベルギー編)」①
- 032：12月14日（月） 「もっと英語を好きになる。洋楽を使った英語勉強法」②
- 033：12月16日（水） 「Youtubeドラマから学ぶフランス語とフランス文化」②
- 034：12月17日（木） 「自分らしく、100%の大学生活にするために私が挑戦してきたこと」②
- 035：12月18日（金） 「フランス語だけどわからない！？色々な国のフランス語(カナダ・ベルギー編)」②

番外編

12月9日（水） ラーニングサポートスタッフ座談会





留学発表セミナー

- 11月26日(木) イタリアのトリノ大学 / 国際文化学部4年
- 11月27日(金) チェコのカレル大学 / 文学部英文学科4年
- 11月30日(月) ハンガリーのエトヴェシュ・ロラード大学 / 文学部外国語学科英語専攻4年
- 12月 2日(水) オランダのアムステルダム応用科学大学 / 商学部経営学科4年
- 12月 7日(月) デンマークのコペンハーゲン大学 / 文学部英文学科4年
- 12月 9日(水) フィンランドのユバスキュラ応用科学大学 / 文学部外国語学科英語専攻5年
- 12月15日(火) イギリスのヨーク・セントジョン大学 / 文学部外国語学科英語専攻4年





2. 主にオンラインでのサービス展開

- ① ウェブセミナー
- ② オンライン学修相談
- ③ オンデマンドコンテンツ





5月20日（水） 9:00-10:00	： 英文学専攻（院生）、社会福祉学科（4年）
5月20日（水） 16:00-17:00	： 国際関係法学科（4年）、国際関係法学科（4年）
5月21日（木） 16:00-17:00	： フランス文学専攻（院生）、英文学専攻（院生）
5月22日（金） 9:00-10:00	： 国際関係法学科（4年）、国際経済学科（4年）
5月25日（月） 9:00-10:00	： 商学科（3年）、国際文化学科（4年）
5月26日（火） 9:00-10:00	： 国際文化学科（4年）、国際経済学科（4年）
5月27日（水） 9:00-10:00	： 商学科（3年）、社会福祉学科（4年）
5月27日（水） 16:00-17:00	： 英文学専攻（院生）
5月28日（木） 16:00-17:00	： 英文学専攻（院生）、国際関係法学科（4年）
5月29日（金） 16:00-17:00	： フランス文学専攻（院生）

5月20日～5月29日 全10回実施

11月16日～12月18日 全48回実施

1月7日～1月29日 全30回実施





ウェブサイトフォーム（メール）でも学修相談を受け付けています。

<https://opac.seinan-gu.ac.jp/library/learningsupport/index>

相談例

エントリーシートの添削
4分間スピーチの材料と方法
レポートの添削
提出物のスケジュール管理法
中作文をチェックしてほしい
英作文をチェックしてほしい
台湾への留学費用について
公認心理士の資格取得と留学について
簿記原理について
2年次以降の商学コース履修に備えて1年次の履修について
英語派遣についての語学要件について
レポートの書き方について
特定科目の単位取りやすさについて
2年生からの法学部の英語クラスについて
特定科目の単位取りやすさ、テストの難易度について
西洋史学の課題への取り組み方について
卒論の書き方について
社福の単位の取り方について
DELFA2の試験について
フランス語の添削

相談件数 : 76名

回答件数 : 107件

(2021.2.10現在)



2. 主にオンラインでのサービス展開

- ① ウェブセミナー
- ② オンライン学修相談
- ③ オンデマンドコンテンツ





オンデマンドコンテンツ展開 ①

【図書館紹介（初年次向け）】（独自作成）

- ・オリエンテーション → 入学式直後に、20分程度で説明していた内容。
- ・基礎演習向け → 4-6月に、基礎演習授業（90分）で実施していた内容。

【ラーニングサポートスタッフ関係】（独自作成）

- ・ラーニングサポートデスク紹介動画
- ・レポートの書き方講座
 1. レポートとは（構成・内容・全体像） ■9分46秒■
 2. レポート執筆の下準備（テーマ設定） ■13分27秒■
 3. 情報収集を始める前に ■5分23秒■
 4. 情報収集の実践編 ■11分52秒■
 5. 引用の仕方・参考文献一覧の書き方 ■10分51秒■

西南学院大学図書館チャンネル（YouTube）から閲覧可

<https://www.youtube.com/channel/UCgHXownNnAK4MDNezLSXU9g>

施設紹介動画も...（オープンキャンパス用に作りました）

<https://opac.seinan-gu.ac.jp/library/opencampus2020>



オンデマンドコンテンツ展開 ②

【レポート基本講座】 学内期間限定配信：7/31～9月末（外部委託）

- 【構成】**
- ① レポートの基本
 - ② 個人ワーク1
 - ③ 個人ワーク1の解説
 - ④ レポートを書くための文献の読み方
 - ⑤ 個人ワーク2：批判的に読む
 - ⑥ 個人ワーク2の解説
 - ⑦ 引用・参考文献一覧の書き方のルール
 - ⑧ 提出直前のチェックポイント
 - ⑨ 本講習会のまとめ

【プレゼンテーション講座】 学内期間限定配信：7/31～9月末（外部委託）

- 【構成】**
- ① イントロダクション
 - ② 対話的プレゼンテーションの方法
 - ③ プレゼンテーション作りの要素
 - ④ プレゼンテーション課題
 - ⑤ まとめ



3. その他の状況





学生スタッフへの研修（外部委託）

【レポート基本講座】

ラーニングサポートスタッフの一員として、学生（学習）支援に必要なスキル全般を視野に入れつつ、その要点について、学生（学習）支援の具体的実践事例の一つである「レポート・論文に関する相談への対応方法」を通して学ぶ

【構成】

- （前半） 1. レポート・論文の基本構成
- 2. 引用のルール
- 3. レポート・論文における表現・表記に関する注意点
- （後半） 4. ライティング支援の基本
- 5. ディスカッション

【プレゼンテーション講座】

聴衆を中心にプレゼンテーションを組み立てることを重視した「対話的プレゼンテーション」について学ぶ

- ### 【構成】
- 1. プレゼンテーションについて
 - 2. プレゼン実践（分析、プレゼン作成、実践）
 - 3. まとめと評価

※ 2021年3月に、今年度の振り返り研修を予定。



【電子資料緊急整備の状況】

- ① **Maruzen eBook Library**
大学向け書籍の和書を追加購入済。
- ② **LibrariE** 新規導入 回数利用権購入型の電子ブック。緊急対応として購入。
- ③ 英語多読資料の購入
 - 【Real Reads Classic Literature】
 - 【Real Reads Modern Literature】
 - 【Real Reads World Literature】
 - 【ROSEN Interactive eBooks】
- ④ その他
無料トライアル（OUP等）、同時アクセス数の拡充、VPN対応、個別交渉 等





【特にオンライン授業支援】

- ① 授業目的公衆送信補償金制度への対応
 - ・ 学内関係部署（法人本部と教務）の橋渡しと情報提供
 - ・ 具体的レファレンス対応は図書館で行うことを広報

→ 結果として、上記に関わらず、オンライン授業におけるレファレンスは多数寄せられた。

- ② 図書館本来の支援は継続
 - ・ 資料や情報へのアクセス支援





4. まとめ





【コロナ禍前期に考えていたこと】

- ・ チーム体制の構築（情報共有、指揮命令系統...）
- ・ 環境を整備すること（オンライン、現地、外部との関係...）
- ・ 図書館機能の維持（資料を届けること、サービスを維持すること...）
- ・ 図書館員が頑張っていた

【コロナ禍後期に考えていたこと】

- ・ 大学としての教育機能の維持
- ・ 縦割り組織の隙間（法人本部、人事、財務、教務、研究支援、情報...）
- ・ 政策の品質維持（システム、教育／研修...）
- ・ 学生スタッフや、周囲との関係を重視していた





【コロナ禍を経験してよかったこと】

- ・ 仕事や組織の目的を考えるようになった（関係者の多くが）
- ・ 学内の組織の隙間が見えるようになった（埋まるかは別として）
- ・ 全学的な取り組みに、図書館が積極的に参加する契機になった
- ・ 仕事を丁寧にするようになった（個人的に）

【困っていること】

- ・ 日常に戻るまでの整理がつかないので図書館全体（直営側）が業務多忙
- ・ 若干無理した組織管理をどうするか検討中
- ・ 図書館の成果や取り組みは、学内他部署には必ずしも浸透しない





- まったく新しく検討したことは、ほぼ無く、恐らく、緊急時に新しいことを開始しても、成果は限定的だと思う。
- これまでの取り組みを、工夫し、拡張し、取捨選択すること。つまり、準備していたことは役にたった。何が準備にあたるかは、プランニングする人次第だと感じた。
- 「図書館」や「資料」は手段であって、目的ではない。
- 状況に合わせた準備や想定をもう少し考えておこうと思っています。





- 図書館が、学内の隙間に気が付き、埋めるチャンスだった。
 - 自ら埋める
 - お互いに歩み寄る
 - 埋めてもらうように促す
 - 第3者を巻き込む
 - 埋めずに、隙間の具体的事実と課題だけ共有する
 - あえて、放置
- 図書館の目的を考えなすチャンスだった。
 - スタディスキルやアカデミックスキルの養成にどう関わるか
 - 教育に、どう関わっていくか





ご清聴ありがとうございました。

連絡先：d-yamash@seinan-gu.ac.jp



SE[†]NAN
GAKUIN UNIVERSITY

<http://www.seinan-gu.ac.jp/>

